

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(4/10)

	評価区分 (※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
森林総合産業特区 (下川町)	正	3.7	3.9 進捗度 ・林業・林産業生産額 99% ・林道網整備 162% ・木質バイオマス原料量 133% 等	3.5 規制の特例等 ・林業機械の搬送時における高さ制限 等 財政支援等 ・高密度連絡路網整備事業 等 地域独自の取組 ・林業・林産業振興事業 等	3.8	<p>・路網の整備が進み、高性能林業機械による効率的な伐採ができる体制が整いつつある。林業・林産業生産額、林道網整備、木質バイオマス原料量の成果が上がるとともに、雇用効果をもたらしていることは取組みとして評価できる。また、財政支援の積極的活用や地域独自の取組みについても活発である。</p> <p>・素材供給量、従事者数、生産効率は、目標を下回っている。これらは相互に関連し合っているもので、根本問題は素材供給量であると考えられる。間伐については国の補助金如何に左右されており、国の補助金以外の資金調達について工夫するなどし、一層素材生産の増加に努めることが必要である。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。